

令和4年11月 上市町教育委員会 定例会 議事録

日 時 令和4年11月28日(月) 午前9時00分～午前10時49分

場 所 上市町役場2階 第1会議室

1 開会

2 教育長の報告

町では出生数が昨年より10名程度増加、また転入が転出を上回る予定とのことであるが、依然として人口減に歯止めがかからない状況にある。

B&G全国教育長会議において、広島県の教育長より県立学校入試の調査書のあり方(出欠の記録や所見欄の削除など)を見直したとの話があった。機会があれば、県教委に入試改革の今後の見通しについて聞いてみたい。

国としては不登校の児童生徒の才能や能力が埋もれてしまうことを心配しており、文部科学省の児童生徒課では、社会的自立が図れるよう不登校特例校やオンラインによる支援を充実させたいとのことであった。

高岡市教育委員会では、全ての学校で小中一貫教育を進めており、先日この内容についてお聞きするとともに、国吉義務教育学校を視察させていただいた。今後、学校のあり方としてどのような形がよいか考えていきたい。また教育委員会としての県外視察も考えたい。

3 教育委員会定例会 会議記録の報告

4 議事

(1) 令和4年12月町議会に提出される予定の議案に対する意見について

[説明]

各班リーダーより、提出される補正予算の内容について説明

—承認—

(2) 学校のあり方について

[説明]

今後のスケジュールについて、今のところ2月に教育委員会としてのパターン案を決定し、令和5年度に審議会を設立する予定である。

(委員)

審議会はどのようなメンバーとなるのか。自分事として考えていただけるメンバーを慎重に選んでもらいたい。

(教育長)

町全体から広く、多方面から意見を聴きたいとなれば、町内の各種団体の代表者となるが、そうするとなかなか意見が出てこないということもある。メンバー選考を工夫していかなければならないと思っている。

(委員)

人口減少による将来的な税収なども考えると、ある程度は出来ること出来ないことが見えているのではないか。

(委員)

建設費用が町の負担となるのであれば、中央小学校の建て替えは行わず、分散させ、現存の校舎の中でも新しい2校をリニューアルして活用もできるのではないか。学校ではなく、図書館などの他の公共施設を充実させるなど、町民全体が利用できる施設にお金をかけても良いのではないか。

(委員)

国の補助などがなくとも、町の手出しが同じであれば、地域の学校を残す方法もあるのではないか。

(委員)

どのような話でも経営的な判断が必要だと思う。ずっと同額の税収が見込めるものではなく、現状で考えると学校は体力のあるうちに建設すべきではないか。小中で1校の建設とし、他の学校施設をどう活用していくかということになるのではないか。

(委員)

小中一貫か義務教育学校かとなると、メリット・デメリットの整理も必要だと思う。また、町議会の意見など提示してもらえるものがあれば参考としたい。

(教育長)

それぞれのメリット・デメリットの分かる資料を作成し、お渡しする。次の定例会で協議することとしたい。

5 報告・その他

(1) 教育支援委員会について

— 質問、意見なし

(2) 令和5年度からの上市中学校部活動の地域への展開について

(委員)

地域クラブの活動日・練習時間について、「週5日以内を原則とする」あるが、原則で良いのか。

— クラブの活動内容はクラブが決定すべき事項であり、教育委員会としてはスポーツ庁のガイドラインに準じた設定を要請するに留まると考えている。

(3) その他

(委員)

中学校では以前は50分授業が多かったが、現状45分授業が多い。子どもたちや保護者はどう感じているのだろうか。

(委員)

子どもたちの集中力も考えて、学校では学習面で工夫されていると思う。色々な面から調べてみる必要がある。

(委員)

小学校で休み時間が5分というのは短いのではないか。子どもたちが先生に相談する時間、何もない休み時間が必要なのではないか。

(教育長)

授業時間などについて、学校評価等の調査項目に含めてもらうよう、各校長にお願いをしていきたい。

6 閉会